

大鶴公民館運営委員会 常任委員会

12月9日(木)に常任委員会がおこなわれ、令和3年度の大鶴公民館の事業経過報告と今後の事業について審議していただきました。昨年に比べるとコロナ禍とはいえ主催事業数、利用者数ともに増えています。年明けの事業・イベントについても貴重な意見を頂きましたので関係団体と協議し開催を判断していきたいと思っています。



事業経過報告と今後の事業について

※女性セミナーは現在登録者が40名を超えているため、今年度は新規募集をおこなっていません。ご了承ください。

女性セミナー「足育講座」

11月16日(火)に女性セミナー「足育講座」を講師に原律子さんをお迎えし開催しました。歩き方に足がどのように影響するのか教えてもらい、足の指の状態を良くするための爪のケアの方法や靴下や靴の選び方まで教えてくれました。家庭での転倒事故で亡くなる方も多いので、土台である足をしっかりケアして健康で楽しい人生をすごせるように心がけましょう。



足は健康の土台

女性セミナー バス研修「久留島武彦記念館と九重の自然散策」

環境学習として長者原ビジターセンターとタデ原湿原へ。長者原ビジターセンターは阿蘇くじゅう国立公園くじゅう地域を紹介する博物館展示施設です。館内では旬の自然の展示の他、くじゅうの四季を見ることができました。センターのすぐ裏手には、2005年に国際的に貴重な湿原としてラムサール条約に登録された「タデ原湿原」が広がり、遊歩道を散策しながら自然を満喫しました。九重夢大吊橋は風が強く渡りましたが希望者のみで渡りましたが吊橋から見る景色はとても素晴らしかったです。



九重の自然散策へ

久留島武彦さんは「日本のアンデルセン」と呼ばれ、明治・大正・昭和の三代にわたって、信じ合うこと、助け合うこと、違いを認め合うことなど、人が人として、共に生きていく上で必要な教養を楽しいお話にのせて子どもたちに語り聞かせた教育者です。当日は記念館の学芸員さんの説明を聞きながら館内を見てまわりました。館内には「子どもを疑うな味方であれ」「チャンスはハゲおやじ」など久留島武彦さんの素晴らしい言葉が沢山ちりばめられています。なかでも「継続は力なり」が久留島武彦さんが考えた言葉とは知らなかった方も多くいました。玖珠町が「童話の里」として知られる理由も良くわかりました。



11月30日(火)に女性セミナーバス研修を開催しました。昨年は感染症対策でバス研修は中止となりましたので久々の開催となりました。

玖珠町の久留島武彦記念館へ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 大明チャレンジ教室「SDGsを学ぼう」



クイズの答え ①約300枚 ②日本
「もったいない」はかけがえのない地球資源に対する尊敬の念が込められている日本の言葉。ワンガリ・マータイさん(ケニア)はこの美しい日本語を環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めました。
環境 3R + Respect = もったいない

環境学習と紫外線チェックビーズ作り
11月13日(土)に環境学習を行いました。NPO法人緑の工房なぐらす代表の葛西満里子さんを講師に迎え、環境問題について教えていただきました。
話の中では次のようなクイズを出題
① レジ袋は国民一人当たり年間何枚使っている?
約100枚 約200枚 約300枚
② MOTTAINAI(もったいない)はこの国の言葉?
ドイツ 日本 ケニア
答えを考えることで自分たちが環境を守るためにできることは何か考えました。また先生が自分で取り組んでいる海岸の清掃のお話では、最近よく聞くプラスチックごみが沢山打ち上げられており、海を覗いてみてもキラキラ光るマイクロプラスチックを見る事ができるそうです。また魚がプラスチックを間違えて食べてしまうお話もききました。日田には海はありませんが、川を通じて海とはつながっています。ゴミを捨てないなど自分たちができることをやっていきましょう。
最後は目に見えない紫外線を感じると色が変わるビーズを使いストラップを作りました。きれいなストラップを見るたびに教えてもらったことを思い出して欲しいと思います。
SDGsは2030年をゴールに持続可能なより良い世界を目指すものです。この子たちが大人になるころにより良い世界になっているように取り組んでいきましょう。

SDGsって知っていますか?

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といったこのままではいけない!という課題を、世界のみんなと2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。



通学合宿代替事業(対象:大明小5・6年生とその保護者)

陶芸教室

それぞれの思いをかたちに
12月5日(日)に、夜明公民館にて親子陶芸教室を開催しました。講師の森山修司さん(清流焼)の指導のもと世界で一つの作品作りに挑戦しました。お皿やマグカップなどそれぞれが作りたい物を作り模様を入れたり工夫をしました。焼き上がりは2月ごろになるとのことです。楽しみに待ちたいと思います。陶芸教室は今年も感染症対策として中止となった通学合宿の代替事業として夜明公民館と合同で開催しました。来年は子ども達が楽しみにしている3泊4日の通学合宿が開催できる状況になっていることを願っています。

